

**【算数】**

「※」は、学習する時のアドバイスです。

<学習内容>

◆小数のかけ算(教科書49ページ～)

1mの重さが1.8kgのパイプがあります。このパイプ4.2mの重さは何kgでしょう

式  答え

※前のように、整数に変身させて考えるとできそうだね。

今までの問題よりも、計算が大変だね。筆算で計算できると楽だけどできるかな。



<課題> 小数×小数の筆算のしかたを考えよう。

※口には当てはまる数を入れよう。

左の考えを筆算にしてみよう。

1.8 × 4.2 =

↓ × ↓ × ↑ ÷

18 × 42 =

① ×  18

× 4.2 ② ×  42

---

③  ④

---

⑤  ⑥

⑦ ÷

※大きな口には、それぞれ筆算の計算を書こう。1.8と4.2を10倍した分、最後に戻さなければいけないね。

※①～⑦の順に考えながら書いていくと、分かりやすいかもしれないよ。

筆算の練習問題にチャレンジ!

①

$$\begin{array}{r} 4.6 \\ \times 1.3 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 5.8 \\ \times 0.3 \\ \hline \end{array}$$

※計算後の小数点の位置をしっかりと確かめよう。

※時間があったら、教科書49ページのたしかめ④にチャレンジすると、さらに力がつくよ!

8.93 × 2.6 の計算を筆算でしよ

$$\begin{array}{r}
 8.93 \quad \boxed{\phantom{00}} \text{倍} \\
 \times 2.6 \quad \boxed{\phantom{00}} \text{倍} \\
 \hline
 \end{array}
 \qquad
 \begin{array}{r}
 893 \\
 \times 26 \\
 \hline
 \end{array}$$

※右は整数に直した筆算を書いていこう。

0.24 × 0.13 の計算を筆算でしよ

$$\begin{array}{r}
 0.24 \\
 \times 0.13 \\
 \hline
 \end{array}$$

※計算をした後、小数点の位置をしっかりと考えて、0をおぎなって表そう。

小数のかけ算の筆算のしかた

$$\begin{array}{r}
 8.\overset{\textcircled{2}}{9}\overset{\textcircled{3}}{3} \\
 \times 2.\overset{\textcircled{1}}{6} \\
 \hline
 5358 \\
 1786 \\
 \hline
 23.\overset{\textcircled{2}}{2}\overset{\textcircled{1}}{1}\overset{\textcircled{8}}{8}
 \end{array}$$

①小数点がないものとして、**整数**のかけ算とみて計算する。  
 ②積の小数部分のけた数が、かけられる数とかける数の**和**になるように、小数点を打つ。

※筆算のしかたの確認です。時間があつたら、教科書50ページ～51ページの、たしかめ5～11もやってみると、さらに力がつくよ。

7.05 × 0.48 の計算を筆算でしよ

$$\begin{array}{r}
 7.05 \\
 \times 0.48 \\
 \hline
 \end{array}$$

※計算した後、右の「なるほど」で、0のあつかい方を確認しよう！

$$\begin{array}{r}
 7.05 \\
 \times 0.48 \\
 \hline
 5640 \\
 2820 \\
 \hline
 3.3840
 \end{array}$$

・末位に0があるとき、通常消す。  
 ・小数点を打つ際は、これも数える。

ここまでの学習のふり返りを書こう。

---



---



---

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・ 小数×小数の筆算は、計算後の小数点の位置や0の扱いが大切になります。丁寧に計算し答えの表し方確かめたり、多くの問題を解く中で筆算のポイントを確かめたりすることも効果的です。教科書の問題に取り組んでみるのもいいです。